

# 達者です ⑤0

## 目標はあと1年

松村九一さん

90歳 (通8区)

「話す。「娘婿はじいちゃんをあぶないから船に乗せん方がええ、と言いますが元気な間は乗るよねー。じいちゃん」と話しかける。「漁に出て危険な目にあったことはない。まあ、波の静かな時しか行かん。無理をせんから」と。「夕方6時半頃出て10時頃帰ってくる。あんまり遠くへはいかん。2キロくらいのもんやろう。取れたイカは生けすに入れちよったら息子が市場に出してくれる。今の楽しみは、相撲を見ること。相撲が終わらんと漁にも出られん」と話す。「三度の食事ができることが嬉しい。大抵なら迷惑をかけないようにしたい」と言う。「魚の干物も全部作ってくれる。本当に助かっています」と嫁さんが話す。ほのほのとした家族を目にした。

# わくわく ひろば

市民の皆さんのページです  
あなたの情報で、ひろばは  
さらにイキイキ ☎ 231117

エンジンヨイ

## 仲間達

④7



重廣 正美さん  
(小河内区)

野球大好き、酒も好き

〜長門スリーズ〜

長門市内に村があるのをご存知でしょうか。行政区である、殿台・大河内・小河内の3地区を昔から三ヶ村と呼んでいます。この地区の青年団という目的で20年前に作られたのが我がスリーズです。長門野球連盟と早朝野球に登録しています。

学生時代からの野球経験者は

数名で、職業もバラバラ、年齢も20歳代から50歳代とまとまりはありません。しかし、日曜日ごとに試合があると全員集まり、みんな楽しんで汗を流しています。試合後は勝っても負けても必ず打ち上げで盛り上がります。酒を嫌いな人が一人もないからです。これからも勝敗に関係なく、体の続く限り野球を楽しみましょう。



④0

# ちょっと小耳にはさんだ

## ボランティア・ガイドが

### ご案内します

長門市ボランティアガイド会  
会長 金谷和夫さん  
(田屋区)



「最初は金子みずぶさんが主体でしたが、毛利元就の関係で大寧寺の勉強もしています。まだスタートしたばかりですが、市内の観光地全てを案内できるようにと会員そろって研修しています。とにかく色々なことを知ることができておもしろいですね」

「平成6年の秋、妻と2人で萩の大照院に行った時のこと、2人のお年寄りから『ご案内しましょうか』と言われお願いしました。勉強中とのことでしたが、とても丁寧に説明していただき、長門にもあったらいいなと思っていました。そして昨年夏、市広報でボランティアガイド募集記事を目にし、担当の人からの話もあり思い切って参加しました」とガイドを始めたきっかけを話します。

会員は16人、その中には山口市から来られる人も。毎月1回勉強会を実施、現地も歩いて研修している。



王子山公園で案内する会員水津さん